

2017年11月13日

PFI手法を参考にしたDBO方式による全国初の合流式ポンプ場事業に参画
— 「宇部市公共下水道玉川ポンプ場事業」に関する契約を代表企業として締結 —

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）を代表企業とする民間企業グループ（以下、「コンソーシアム」）（※1）は、この度、山口県宇部市との間で「宇部市公共下水道玉川ポンプ場事業」（以下、「本事業」）に関する契約を締結しました。

（※1）コンソーシアム：

三井住友建設株式会社（代表企業）、株式会社クボタ、東芝インフラシステムズ株式会社、日本水工設計株式会社、クボタ環境サービス株式会社



【宇部市玉川ポンプ場のイメージ図】

宇部市の公共下水道は事業着手から70年近く経過しており、施設や管渠（排水路）の老朽化が進んでいます。

本事業は、既設の栄川ポンプ場（昭和32年供用開始）と鶴の島ポンプ場（昭和42年供用開始）の老朽化にともない両ポンプ場を廃止し、それらの機能を統合して新たに玉川ポンプ場を整備するものです。本事業は合流式ポンプ場（※2）整備案件としては全国初のDBO方式（※3）による事例となります。

民間の技術力やノウハウを活用することで、事業費のコスト削減や、質の高い公共サービスの提供が期待されており、社会インフラの適切な維持管理の実現を目指し、コンソーシアムの代表企業として円滑な業務推進に取り組んでまいります。

（※2）合流式ポンプ場：汚水と雨水の排除機能を持つポンプ場。

（※3）DBO方式：民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づく調達手続きを参考に、施設的设计・建設から維持管理業務を一体的に行う事業方式。

■本事業の概要

事業名：宇部市公共下水道玉川ポンプ場事業

事業内容：玉川ポンプ場及び合流幹線管渠の設計及び建設
栄川ポンプ場及び鶴の島ポンプ場の撤去
玉川ポンプ場の維持管理

事業期間：平成29年10月～平成56年3月

設計・建設期間 平成29年10月～平成37年11月

維持管理期間 平成36年4月～平成56年3月

事業方式：DBO方式 (Design Build Operate)

施設能力：計画水量：22.245m³/秒

契約金額：約165億円

構成員：三井住友建設株式会社（代表企業）

株式会社クボタ、東芝インフラシステムズ株式会社、日本水工設計株式会社、
クボタ環境サービス株式会社

当社の役割：コンソーシアムの代表企業として業務の取りまとめを行います。

工事請負契約に基づき栄川ポンプ場・鶴の島ポンプ場の機能を統合する玉川
ポンプ場と合流幹線管渠の新設を行います。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

Email: information@smcon.co.jp

以 上